

船舶事故等調査報告書

平成25年10月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2013門第21号
事故等種類	乗揚
発生日時	平成25年2月12日 13時50分ごろ
発生場所	大分県臼杵市臼杵港臼杵川河口 臼杵港防波堤灯台から真方位294° 130m付近 (概位 北緯33° 07.7′ 東経131° 48.8′)
事故等調査の経過	平成25年2月18日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	貨物船 第七福神丸、199トン
船舶番号、船舶所有者等	134649、有限会社福田海運
乗組員等に関する情報	船長、五級海技士（航海）（履歴限定）
死傷者等	なし
損傷	船底外板に擦過傷
事故等の経過	本船は、船長ほか3人が乗り組み、チップ約560tを積載し、船首約2.6m、船尾約3.6mの喫水により、平成25年2月12日13時30分ごろ、臼杵港の岸壁を離れ、山口県岩国市岩国港に向かった。 船長は、港外からフェリーボートが港口に向かって入航して来るのが見えたが、先に港口を通過すれば、港外でフェリーボートと右舷を対して通過できるものと考え、港口を通過して臼杵川河口の浅瀬に向けて航行し、同浅瀬の手前で右転しようとしたものの、本船は、13時50分ごろ同浅瀬に乗り揚げた。 本船は、次の満潮を待つて自然離礁した。
気象・海象	気象：天気 雨、風向 南西、風力 2、視界 良好 海象：潮汐 下げ潮の末期
その他の事項	本船及びフェリーボートは、互いに相手船を認識していたが、VHF等の通信を行わなかった。
分析	
乗組員等の関与	あり
船体・機関等の関与	なし
気象・海象の関与	なし
判明した事項の解析	本船は、臼杵港において、離岸して出航中、船長が、入航して来るフェリーボートを港外に認めた際、先に港口を通過すれば、港外でフェリーボートと右舷を対して通過できるものと考え、港口を通過したのち、臼杵川河口の浅瀬に向けて航行し、同浅瀬に接近したことが

	<p>ら、右転しようとしたものの、同浅瀬に乗り揚げたものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、臼杵港において、離岸して出航中、船長が、港外でフェリーボートと右舷を対して通過できるものと考え、港口を通過したのち、臼杵川河口の浅瀬に向けて航行し、同浅瀬に接近したため、右転しようとしたものの、同浅瀬に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。</p>